



さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2018.1.16(火)
No. 236

「秩父夜祭」

十二月三日に行われる「秩父夜祭」は、日本三大曳山祭の一つとして全国に名をはせている。夜祭が近づく町あちこちから屋台囃子の音が聞こえてくる。屋台小屋には山車が組み立てられ、はや出番を待っていた。
年の暮れを華やかに彩る祭りが終わると、秩父はやっと新しい年の始まりとなる。
憲法改定の動きが具体化し、国の形が変えられそうな不安な年明けだが、そんな不安を吹き飛ばし、今年こそみんな心から祭りを祝い合える年にしてほしいもの。



教職員の多忙化解消・施設設備改善・教育条件整備等を求めて 市教委と再度交渉

二学期も押し迫った十二月十四日にさいたま市教育委員会との交渉を行いました。これは過日組合が「教職員の多忙化解消・施設設備改善・教育条件整備等を求める要求書」を市教委に提出しその回答をもとにして交渉を設けたものです。組合からは大澤委員長をはじめ15名が参加。市教委からは教職員人事課、指導一課、二課、学校施設課、教育研究所、総合教育相談室の各課長らが出席しました。多くの課題がある中で質問を16項目にまとめたものの1時間半という限られた時間では足りないほどの白熱した交渉となりました。2面に続報

業務改善には現場の生の声を 反映せよ

以前市教委は「多忙化解消検討委員会」の名称で学校現場の負担軽減、多忙化解消に取り組むことを約束しましたが、正式に「学校業務改善検討委員会」の名称で、検討協議が始まったそうです。その動向に大いに注目したいところですが、構成

メンバーは教育委員会関係者と各学校校長会代表で構成されているとのこと。しかし、これでは教職員の生の声が反映されることにあまり期待が持てず、組合代表等の教職員の代表をメンバーに加えることを再度要求しました。

さらに、先日行った「教職員等の勤務に関する意識調査」の問題点を指摘し、特に記述で現場の問題点や願いを問わなかったことについてはミスを認めました。組合としては再度自由記述のよきな形で教職員の生の声を聞くよう要求しました。

(2面へ)

アンケート結果や 学力調査の結果を 人事評価の結果にはしない

(1面からの続き)

人事評価の自己申告書提出の時期になっていますが「よい授業」のアンケート結果や全国や市の学力調査の結果を評価者(校長)が評価の材料にしないことについて改めて確認しました。これについては、アンケートや調査はあくまでも「施策の検証や教育指導の充実に役立っている」として行うのであって、その内容や結果で教職員が評価されることはないとの回答でした。また、学力調査について委員会は、その結果を学校ごとに発表することは考えていないこと、テスト対策のため「過去問題」に取り組んだり、市の平均と比較して学校ごとに一喜一憂したりすることがないように対応していくと説明しました。

GSの時間増での 現場の多忙化の実態を 把握していないのでは？

この市教組新聞でも何回も指摘している授業日数205日、8分の時間増、中学校の授業時数15時間増の問題については、組合は市教委も推進している「業務改善」の立場から質問しました。この施策を提示したことにより「スクラップ&ビルド」の観点から、マイナスされるものは何かを問いました。GSの時間増によって従来の学校に定着している読書や業前運動、朝

とに対し、指導一課長は「この計画は平成二十六年にすでにお知らせしている」と回答しました。これについては一同唖然としました。

教育課程には含まれていない スポーツ行事の問題点を指摘

大宮地区の駅伝大会や浦和地区のサッカー大会について問題点を指摘しました。一課長は、「スポーツ行事は体育の授業の成果を生かすことも、事業内容・実施方法の工夫改善、安全管理の徹底を図っている」との回答でしたが、組合側は子ども

市教組は現場の中で多忙化の大きな原因になっている「205日、GS時間増、1030時間」について、改めて交渉を持ちたいと考えています。

「予算がない」とは言うが

学校の施設・設備に対する要求も大変切実です。市教委は「学校施設リフレッシュ基本計画」に基づいて改築、改修を行っているとの回答でした。しかし、私たちが勤務校の中で子どもたちの安全面や、教育効果の観点で施設設備の改善をお願いしても、校長先生や教頭先生の努力もむなしく、委員会からは「予算がない」との返答で、我慢を強いられているのが現状です。トイレやプール

新春 お楽しみパズル



マス目が全部うまったら、AからHの文字をつなげてください。そこに出てくることばが正解です。

1	2	F	C	3	◆	4	5
6			◆	7		D	A
		◆	8		◆		◆
9	B			◆	10		11
		◆	12	G		◆	
◆	13		E	◆	14	15	◆
16			◆	17	H		

A	B	C	D	E	F	G	H

【ヨコのかぎ】

- 物を包むのにもちいる方形の布。今、これを使っている人は少ない。
- 和食はこれ一膳で、すべての食事ができる。
- 江戸前でんぶらで定番の魚といたらこれでしょう。
- テレビのチャンネル。昔はガチャガチャ回したものだが、今はこれ。
- インド料理におけるパン
- 札幌の名所。□□□台。
- 「？」疑問符のことを□□□マークと呼ぶ人もいる。
- 生産の3要素とは、土地と労働とこれ。
- 江戸中期の女流俳人。加賀の□□。
- 道案内。次の□□を右にまがって3軒目です。
- 「百舌」と書く鳥。
- 物事のはじめ。最初。かわきり。

【タテのかぎ】

- 「ふきみそ」の材料になる植物。
- むだ。損失。空費。
- ビールのレッテルになっている架空の動物。
- もと、青函連絡船による北海道の玄関口だった町。
- 幹線。□□都心。
- ～□□□□の話はあのねのね。♪～
- 映画「幸福(しあわせ)の黄色い□□□□」。1977年公開。
- 初夢に見ると良いという野菜。
- 世界□□。日本□□。白□□。
- 半□□。どこでも□□。

(出題 山木康裕さん)

市教組OB

(解答と当選者は次号に掲載します)

正解者3名に抽選で1,000円分の図書カードをプレゼントします。

氏名と校名を明記して、解答を、はがき・FAX・メールなどで市教組宛に送ってください。